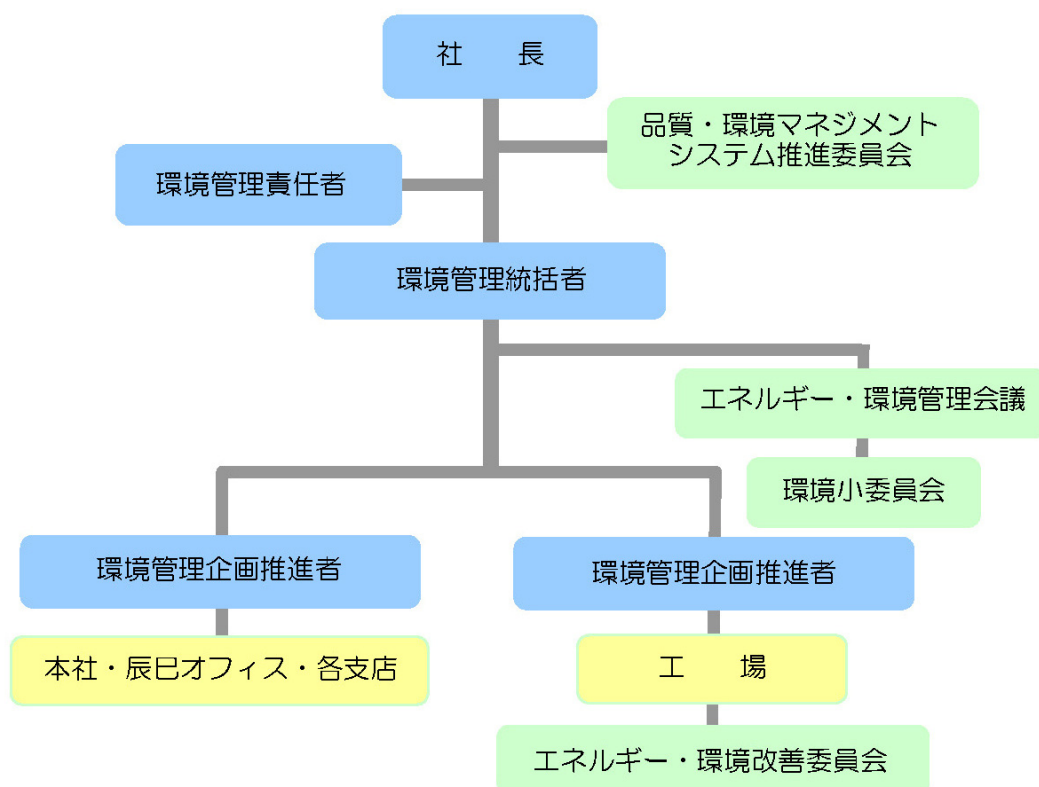


環境マネジメント

環境管理体制



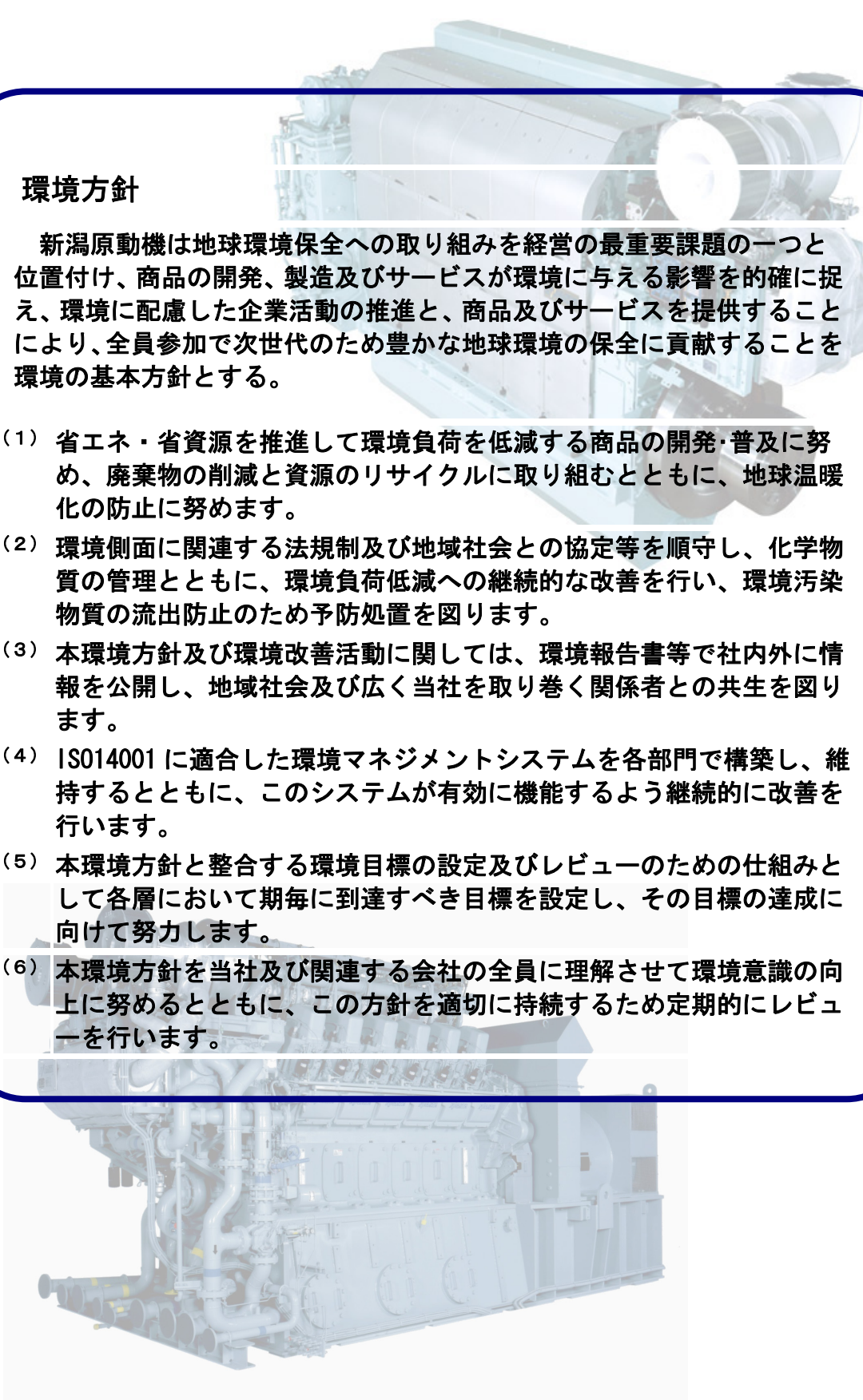
太田工場・省エネ工場調査リハーサル

改正省エネ法が施行になり、経済産業省による省エネ活動工場立入調査がＩＨＩグループにて順次実施されており、新潟原動機も事前に省エネセンターに依頼して、省エネ管理標準の評価と調査リハーサルの実施の要請がＩＨＩからありました。



経済産業省の工場調査はいずれ当社も実施されることが考えられるため、この機会にリハーサルを受けることをお願いしました。

結果、管理標準に記載されている項目は、概略判断基準で要求している内容が記載されているが、その下につながる設備管理指示書、さらにその下のチェックシートへの展開が不十分など、数点の改善事項が指摘されました。今後改善を行い、設備管理指示書及びチェックシートを省エネ指向型に改訂し、管理標準とのつながりをより明確にし、改正省エネ法に対する対応をより確実にしていく考えです。



環境方針

新潟原動機は地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、商品の開発、製造及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した企業活動の推進と、商品及びサービスを提供することにより、全員参加で次世代のため豊かな地球環境の保全に貢献することを環境の基本方針とする。

- (1) 省エネ・省資源を推進して環境負荷を低減する商品の開発・普及に努め、廃棄物の削減と資源のリサイクルに取り組むとともに、地球温暖化の防止に努めます。
- (2) 環境側面に関連する法規制及び地域社会との協定等を順守し、化学物質の管理とともに、環境負荷低減への継続的な改善を行い、環境汚染物質の流出防止のため予防処置を図ります。
- (3) 本環境方針及び環境改善活動に関しては、環境報告書等で社内外に情報を公開し、地域社会及び広く当社を取り巻く関係者との共生を図ります。
- (4) ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムを各部門で構築し、維持するとともに、このシステムが有効に機能するよう継続的に改善を行います。
- (5) 本環境方針と整合する環境目標の設定及びレビューのための仕組みとして各層において期毎に到達すべき目標を設定し、その目標の達成に向けて努力します。
- (6) 本環境方針を当社及び関連する会社の全員に理解させて環境意識の向上に努めるとともに、この方針を適切に持続するため定期的にレビューを行います。

環境マネジメント

環境目標

環境基本方針に基づき、生産部門においては生産活動における省エネや工数低減を主体に、前年度対比原単位当たりCO₂ 3%削減を環境目標に活動を展開しています。

また、本社・支店等の事務所部門においては、ムダエネルギーの排除、室内温度の適正化など環境意識の向上を図り、電気使用量1%削減目標で活動しています。

EMS活動

●ISO14001審査

当社は、2001年9月にISO14001の認証書を取得して以来、半年毎に定期審査、及び3年毎に更新審査を受けています。直近では、2011年12月に東北支店、北海道支店及び本社のマーケティングセンターとカスタマーサポートセンター部門について、第3回目の定期審査が行われました。

緊急事態の対応として、「激甚災害対策マニュアル」が作成されていましたが、通信・連絡手段の確保等について、東北支店の東日本大震災の経験を反映した使いやすいマニュアルに見直しておくべきとの、改善提案をいただきました。



●品質・環境内部監査員教育

当社は、毎年4月に内部監査員教育を行い、その年の監査方針や内部監査チェックシートの説明などを行い、5月から監査員を一部署4名程度選抜し、内部監査を実施しています。今年度も4月16、20日の二日間に分けて各部門のチームを指揮する管理者4名を新人監査員として登用し、ベテラン監査員とともに総勢18名で監査員教育を実施しました。監査対象部署は、前回監査の結果を反映し工場部門及び重点監査部署を選択し、密度の高い監査を実施することとしました。

当社はこの定期監査のほかに、重点部署を選択し、品質保証室メンバーによる特別システム監査なども行っています。



写真 上:ISO14001 審査の様子(中国電力㈱殿建設工事現場審査) 下:内部監査員教育の様子